



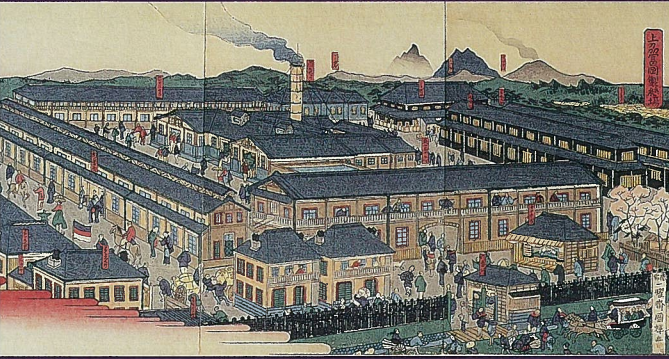
錦絵「工女勉強之図」



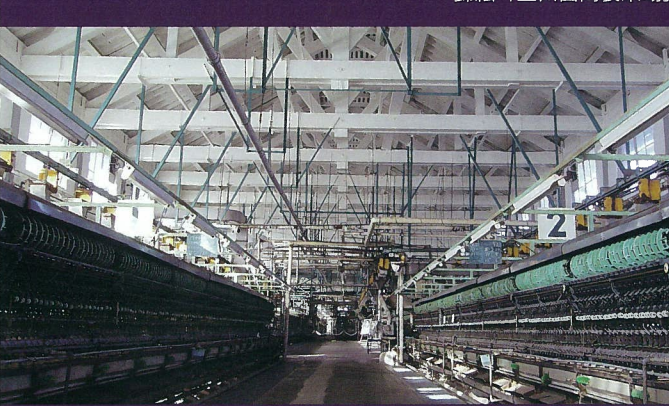
ブリュナ館



女工館



錦絵「上州富岡製糸場」



繰糸場内部

▽富岡製糸場

明治維新直後、時の政府は日本の近代国家への礎として工場化された産業施設の創設を計画しました。これは、近代化された諸外国への仲間入りを目指して行われた「殖産興業」政策の一翼でした。

特に、貿易による外貨獲得の道として「生糸の輸出振興」が打出されると、フランス人ポール・ブリュナを指導者として雇い入れ、政府は尾高惇忠を中心として、ヨーロッパの先駆的な技術を持つ近代的な器械製糸工場の創設に動き出しました。

そして明治5年(1872)、この富岡の地に全国初となる官営模範製糸場が創設されます。操業開始は同年10月4日のことでした。やがて、当時の最新鋭だった器械製糸技術は、全国から集った工女らの手で各地へ伝播された他、富岡製糸場を模範とする製糸工場が各地に建設されました。

その後、経営は官から民(三井、原合名会社、片倉工業(株))へと変遷しますが、創業当時の特色ある建造物群は、常に日本の近代産業のシンボルとして、140年近くもの間ほぼ明治時代の姿のまま活用・保存がされてきました。片倉工業(株)より平成17年(2005)10月1日、富岡市に管理が移され、現在も大切に保存されています。

現在富岡製糸場は、歴史的な建物が残る文化遺産として、また、日本の製糸業の近代化を牽引した産業遺産として、群馬県内の絹産業遺産群とともに世界遺産登録を目指しています。

▽建造物について

富岡製糸場には現在でも明治創業当初の主要な建物が、ほぼ当時の姿のまま良好に保存されています。明治政府が創設した官営模範工場のうち、操業時の姿をほぼ完全な形で残すのは富岡製糸場だけといわれています。

政府に雇われたポール・ブリュナは、フランスの技術を日本の風土に合わせて工夫を加え、富岡製糸場設立に尽力しました。建物の設計はフランス人製図師オーギュスト・バスチャンが担当し、実際の建設には日本人大工があたりました。

主要な建物は木材で骨組みを造り、その間にレンガ壁を積む「木骨レンガ造」で建てられています。必要な資材は主に県内から調達され、当時日本で製造が難しかったもの(窓ガラス、鉄のサッシ、蝶番など)はヨーロッパを中心に輸入されました。特に大量のレンガは、ブリュナから手真似で作り方を教わった日本人の瓦職人が、富岡の隣にある福島町(現甘楽町福島)に窯を築き、瓦と共に焼き上げました。

こうして完成した富岡製糸場の建物は、東西の二つの繭倉庫・繰糸場ともに長さ100mを超す大規模なものばかり。

今でもその堅牢な佇まいを残し、当時世界最大規模を誇った富岡製糸場の様子を伝えてくれます。

▽開場時間

午前9時～午後5時
ただし、受付時間は午後4時30分までです。

▽解説開始時間

個人での見学の場合は下記の時間で解説案内(約1時間)を行っています。(自由参加)

[午前] 9時30分、10時、11時
[午後] 1時、2時、3時、4時
※午前9時30分と午後4時の解説は4月～9月のみ実施。

▷見学科

	個人	団体(20名以上)
大人	500円	400円
高校・大学生	250円	200円
小・中学生	150円	100円

*未就学児・市内の小中学生は無料
*障害者手帳をお持ちの方と介護者(1名)は無料

▽休場日

12/29～12/31
ただし、点検・整備等で臨時休場となる場合があります。

▽団体のお客様へ

20名様以上の団体見学は、1ヶ月前までに所定の申込用紙(FAX・郵送)にてお申込ください。20名に満たない場合も、バスでお越しの方はお申込が必要です。
なお、混雑状況により予約調整をする場合がございますのでご了承ください。
※所定の申込用紙は下記URL 富岡製糸場世界遺産推進ホームページをご覧ください。

▽お申込み・お問い合わせ

富岡製糸場 富岡市富岡1番地1
tel 0274-64-0005 fax 0274-64-3181
富岡製糸場 世界遺産推進ホームページ



電車をご利用の場合、最寄り駅は上信電鉄上州富岡駅です。富岡製糸場までは徒歩15分程度です。富岡製糸場は車両の乗り入れができません。お車で越しの場合は市営駐車場(有料)をご利用ください。富岡製糸場までは徒歩5分程度です。

▽市営駐車場

・宮本町駐車場→P1 ・上町駐車場(平成21年7月から利用開始)→P2
バス利用の場合は事前にお申し込みください。(右記「団体のお客様へ」を参照)

▽駐車料金

・普通車 1台 30分まで無料 以降30分ごとに100円加算
・バス 1台 4時間まで2,000円

詳しくは富岡製糸場まで

URL <http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>